

縄文顔と弥生顔

ヒトの顔を見て、縄文顔か弥生顔を想像してみると面白いよ。

◎縄文顔 くアゴが張って彫りの深い顔

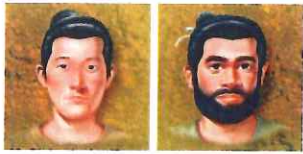
小さくシンプルな歯 二重まぶた

イケメン、美形 など

◎弥生顔

く面長で顔は平坦な薄い顔

大きく複雑な歯、一重まぶた
品がいい など



* 有名な人に例えてみよう。
友人の輪が広がるかも。

縄文もやまもなし

道外の縄文の構成資産から ①

く小牧野遺跡(青森県)

青森県青森市にある縄文時代後期前半の遺跡。三内丸山遺跡の南に位置し、二つの川(荒川と内川)に挟まれた台地上、標高一四五メートル付近にあります。

土地造成と特異な配石で構築された大規模な環状列石を主体とする遺跡で、一九五五年(平成七年)三月に国の史跡に指定されました。

その存在は古くから知られてはいましたが、長い間調査されておらず、当時青森山田高等学校に勤務する職員によって発掘調査されました。

縄文時代の遺物を発掘し、認知度が上がりました。当時の精神生活や社会構造、墓制等を明らかにするとともに、土地の造成や多量の大型石の運搬・設置など、土木工事の実態を知る上で重要な遺跡です。

お時間の許す方は、一度ご覧あれ。

■問合せ 一般社団法人 小牧野遺跡保存活用協議会



北海道庁から ～縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて～

日頃から、縄文遺跡群の世界遺産登録推進に対してご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。北海道では、これまで、北東北3県や関係団体と連携して縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて推進活動に取り組んできました。そして、この度、小冊子『北海道の縄文文化』を作成し、10月17日(月)～21日(金)にユネスコ本部(パリ)で開催した「創造都市交流事業」において、小冊子を活用して本道の縄文文化の持つ魅力や意義について紹介し、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の取組をアピールしてきました。

また、北東北3県と連携して、これらの縄文遺跡群を紹介するパンフレットを作成しました。今後、道内各地で開催するセミナーやシンポジウムなどにおいてこれらを活用しながら「北の縄文道民会議」と一層連携を強め、世界遺産登録に向けた気運の醸成を図り登録実現に向けて取り組んでまいります。ぜひ、シンポジウムや講演会などに参加するなど、皆様お一人おひとりの興味関心で市民活動を盛り上げていただき、世界遺産登録の後押しをよろしくお願い致します。

北海道環境生活部縄文世界遺産推進室



縄文冊子の紹介



ユネスコ創造都市交流事業



4道県パンフレットの紹介



縄文トピックス【お知らせ】



「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進フォーラム

- 日 時：11月20日(日) 13:30～16:00
- 場 所：大雪クリスタルホール国際会議場(旭川市)
- 主 催：縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、北海道
- 共 催：北の縄文道民会議、北海道縄文のまち連絡会、札幌国際大学縄文世界遺産研究室
- 内 容：札幌国際大学縄文世界遺産研究室長 越田賢一郎氏による基調講演
パネルディスカッション
- 問合せ：北海道縄文世界遺産推進室 011-204-5168



MOSHIRIライブ (アイヌ詞曲舞踊団モシリ)

- 日 時：11月25日(金) 19:00開演(18:00会場)
- 場 所：札幌市教育文化会館(札幌市)
- 内 容：アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」によるライブ
- 後 援：北の縄文道民会議、北海道縄文のまち連絡会、北海道 ほか
- 問合せ：アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」
札幌公演実行委員会
090-3018-5504



縄文雪まつり

- 日 時：2月6日(月)～12日(日)
- 場 所：北海道庁赤れんが庁舎(札幌市)
- 共 催：北の縄文道民会議
北海道縄文のまち連絡会
札幌国際大学縄文世界遺産研究室
- 内 容：縄文土器などの出土品展示、
北の縄文パネル展、北の縄文セミナー
- 問合せ：北海道縄文世界遺産推進室
011-204-5168



縄文旅

- 日 時：11月5日(土)
- 場 所：11月5日(新潟県、石川県)
- 協 力：北の縄文道民会議
- 内 容：日本随一のヒスイ産地「小滝川ヒスイ峡」を訪問します！
漁業の町で有名な「氷見市」の温泉ホテルに宿泊！
- 問合せ：株式会社シーピーツアーズ 011-221-1122



* 都会の縄文人のためのマガジン『縄文ZINE』(無料)

- 発行 者：株式会社ニルソンデザイン事務所
- 配布場所：株式会社シーピーツアーズ
- ホームページ：<http://jomonzine.com>
- 問 合 せ：「縄文ZINE」のほしい方は、株式会社シーピーツアーズへお越しください。
(住所)：札幌市中央区大通東1丁目3番地 中央バス札幌ターミナル2F
「縄文ZINE」の詳しい情報はホームページをご覧ください。

